

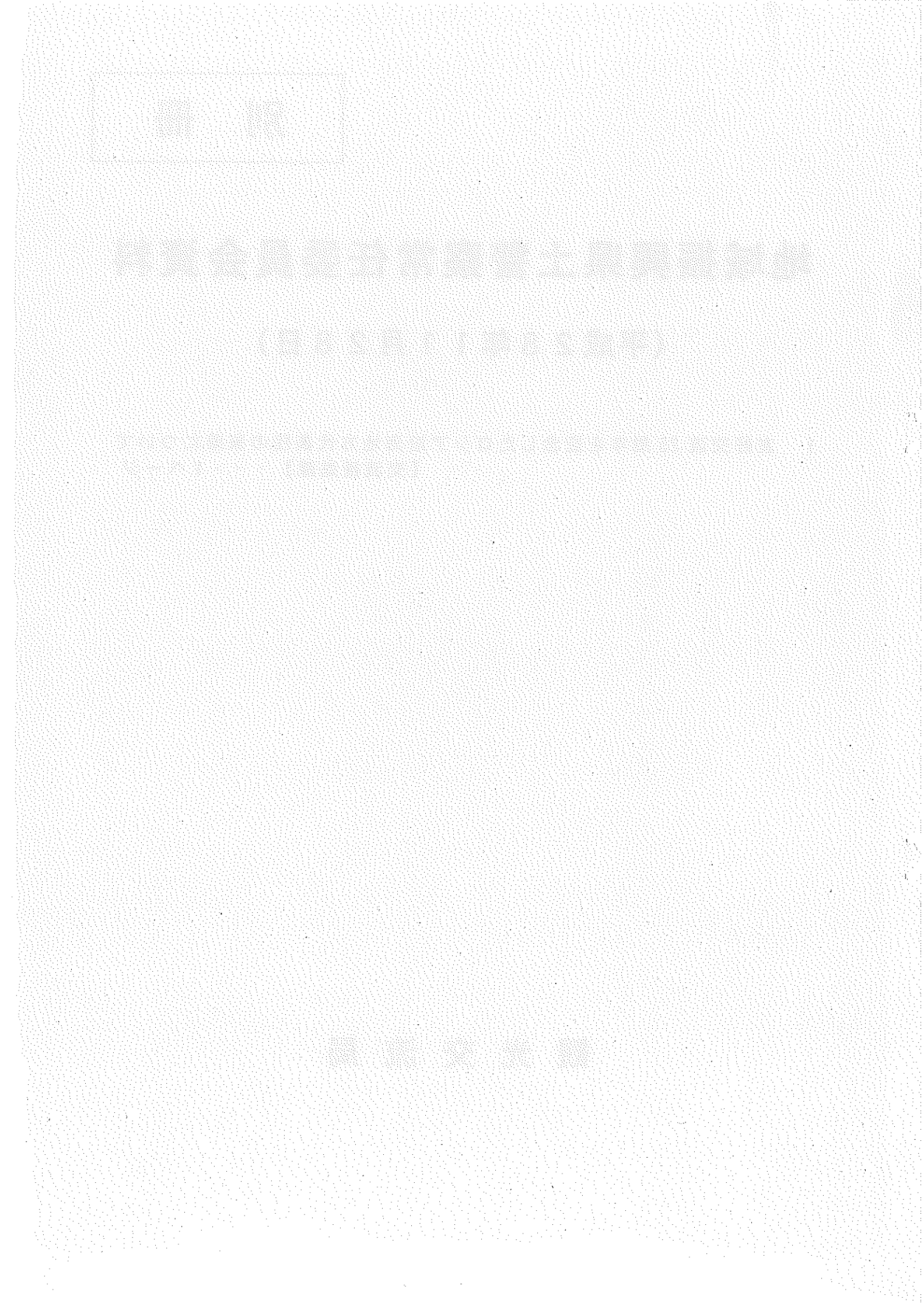
別 冊

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成28年11月28日)

- 1 友好交流 25 周年を記念したロシア沿海地方代表団の来県について
【交流推進課】・・・1 ページ

観 光 交 流 局



友好交流25周年を記念したロシア沿海地方代表団の来県について

平成28年11月28日
交 流 推 進 課

本年は、鳥取県と沿海地方が1991年10月に「友好交流に関する覚書」に調印してから25周年の節目の年であるところ、今後の交流を促進するに当たって、友好交流25周年を記念して沿海地方代表団が来県し、鳥取県内で記念式典等下記のとおり開催しました。

記

1 主な日程

月 日	主 な 行 程
11月23日(水・祝)	■友好交流25周年記念式典(鳥取市：バードハット)
11月24日(木)	■両知事会談(ニューオータニ鳥取) ■歓迎レセプション(米子市内)
11月25日(金)	■友好交流25周年記念植樹 ■鳥取県議会議長表敬及び県議会議場における演説

2 来県概要

(1) 鳥取県・沿海地方友好交流25周年記念式典

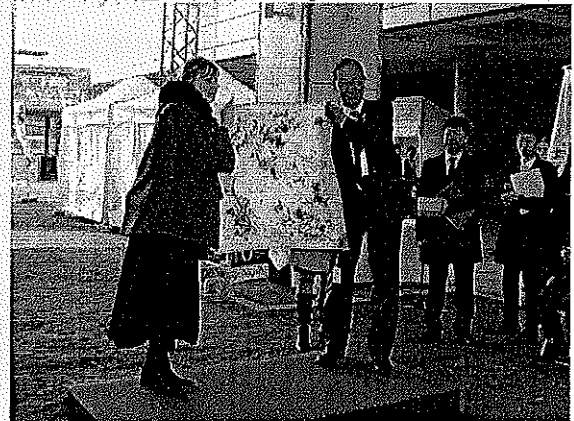
- ア 日 時 11月23日(水・祝) 正午から
イ 場 所 バードハット(鳥取市内)
ウ 出席者 林昭男鳥取県副知事
イリヤ・コバリョフ沿海地方副知事
イリーナ・ミクルシェフスカヤ沿海地方知事夫人ほか

エ 概要等

林鳥取県副知事、コバリョフ沿海地方副知事が、友好交流25周年を記念し挨拶を行い、両地域の交流の発展を誓いあうとともに、関係者で25周年を祝うくす玉を割った。25周年を祝い、画家であるイリーナ・ミクルシェフスカヤ沿海地方知事夫人から、鳥取県に、同夫人がデザインしたスカーフの贈呈がなされた。また、会場では、沿海地方の伝統芸能として「ロシア民族楽器カルテット」が四重奏及び歌を披露するとともに、ロシアスカーフの展示及び文化、経済、青少年等の両地域の交流の写真パネルの展示を実施し、鳥取県民に対して両地域の交流をアピールした。なお、同日夜、米子市内において、沿海地方との友好交流25周年記念して歓迎レセプションを開催した。同レセプションには、両地域の副知事を始めとして、リャボフ在大阪ロシア連邦総領事、齊木県議会議長、野坂常任委員会副委員長、足立環日本海経済促進協議会会長、野坂米子市長、中村境港市長、石田倉吉市長他が出席した。



【友好交流記念のくす玉割り】



【イリーナ夫人のスカーフの贈呈】

(2) 知事会談

- ア 日 時 11月24日(木) 午後7時30分から
イ 場 所 ニューオータニ鳥取 「鳳凰の間」
ウ 出席者 平井伸治鳥取県知事
ウラジーミル・ミクルシェフスキー沿海地方知事
オレグ・リャボフ在大阪ロシア連邦総領事ほか

エ 概要等

12月15日に予定されている日露首脳会談の内容を見据え、経済交流の一層の推進を確認し、両地域の交流が日露地域間交流のモデルケースとなり、交流のリーダー役となるよう一層の協力を推進することを合意した。また、平井知事から、鳥取県中部地震へのミクルシェフスキー知事からのお見舞いの書簡に対して感謝を伝えるとともに、来年春に鳥取県中部で開催予定の北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットのテーマを震災復興とすることを提案し、ミクルシェフスキー知事の参加を要請した。ミクルシェフスキー知事も同意し、是非参加したいと応じた。



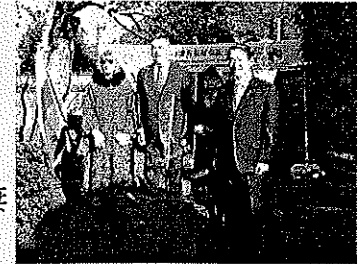
【知事会談の様子】



【友好交流記念ワインの贈呈】

(3) 鳥取県・沿海地方友好交流25周年記念植樹

- ア 日時 11月25日(金) 午前8時50分から
- イ 場所 知事公邸
- ウ 出席者 平井伸治鳥取県知事夫妻
ウラジーミル・ミクルシェフスキー沿海地方知事夫妻
オレグ・リャボフ在大阪ロシア連邦総領事ほか



【記念植樹の様子】

エ 概要等

鳥取県と沿海地方の友好交流25周年の証として、知事公邸庭にロシア沿海地方にも自生する「カラマツ」を両知事、両知事夫人の4名で植樹し、両地域の交流を一層促進するため、両知事が今後も協力していくことを合意した。

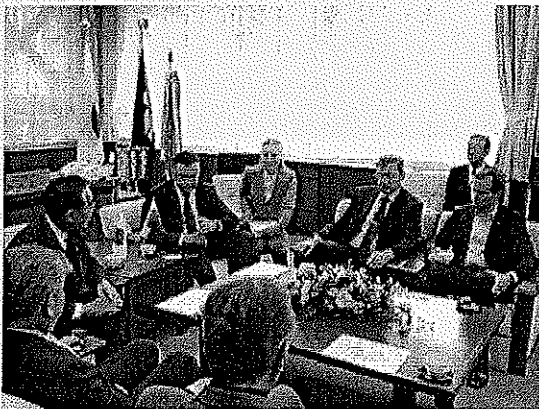
(4) 鳥取県議会議長表敬及び県議会議場における演説

- ア 日時 11月25日(金) 午前9時30分から
- イ 場所 鳥取県議会 議会棟 議長室及び議場
- ウ 出席者 斉木正一鳥取県議会議長
藤縄喜和鳥取県議会副議長
ウラジーミル・ミクルシェフスキー知事
イリヤ・コバリョフ沿海地方副知事
オレグ・リャボフ在大阪ロシア連邦総領事ほか

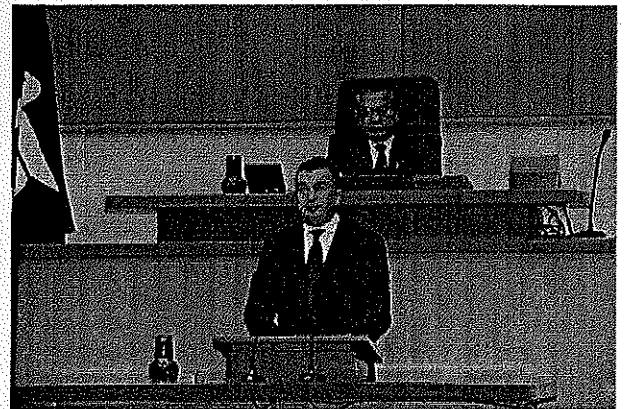
エ 概要等

平成28年11月議会の開会日に、ミクルシェフスキー知事が斉木鳥取県議会議長、藤縄副議長を表敬訪問し、これまでの両地域の交流の推進に当たって、議会が非常に重要な役割を果たしてきたことに対し、沿海地方を代表して感謝を述べた。斉木議長は、ウラジオストクを3年前に訪問した際、APEC開催に当たって空港や橋などの社会インフラが整えられ、これから成長していく都市の息吹を感じ、今後の発展への期待を述べられた。

また、県議会議場において、ミクルシェフスキー知事は、県民へのメッセージとして演説を行い、これまでの交流の歴史を踏まえ、今後の両地域の交流を発展させていきたい旨を述べた。



【県議会議長表敬】



【県議会議場での演説】

3 その他

- 沿海地方代表団の来県に先立ち11月22日(火)に、沿海地方ウラジオストク市の友好交流都市である鳥取市と連携し、同市内の小中学校でロシア料理の給食が提供するとともに、鳥取西中学校において、在大阪ロシア連邦総領事館のショルキナ外交官がロシアの文化等を紹介した。
- その他、同時に来県した沿海地方からの経済団、文化団、レストラン団が、県内において商談会や文化紹介行事等を行った。